

山梨県緑化センター跡地活用事業の進捗状況について

令和 3 年 9 月
都市計画課 緑化センター活用推進係

1 (仮称) 篠原地区公園の整備について

県内における緑化推進の拠点施設であった「山梨県緑化センター」は、県の事業見直しにより施設廃止の方針が示され、市民等による施設の存続を求める署名が集められたが、平成 26 年 3 月をもって廃止された。

市では、施設の存続を求める多くの市民等の要望などから、施設跡地等を取得し、既存施設の機能と役割を継承するとともに、市内外から人が集う賑わいの交流拠点施設として整備を計画した。

しかし、新型コロナウイルス感染症対策を最優先事項として取り組むこと、また、感染拡大による市民生活等への影響が甚大かつ長期にわたると予想されることから、事業計画を白紙撤回した。その後、跡地活用を検討した結果、緑を活かし緑に親しむ学習拠点、幅広い世代の地域交流拠点となる都市公園「(仮称) 篠原地区公園」として整備することを決定し、令和 2 年度において、都市公園区域及び都市計画用途変更について都市計画決定を行うとともに、事業用地として県有地 (21,436.68 m²) を取得している。

また、令和 3 年度においては、具体的な公園整備内容について検討するため、市民の意見を反映するなかで「(仮称) 篠原地区公園整備基本計画」の策定を進めるほか、残りの事業用地である県緑化センター跡地に隣接する民有地 (4,115.2 m²) の取得に取り組む。

2 (仮称) 篠原地区公園整備基本計画の策定について

(1) 目的

事業の再検討にあたり、県緑化センター跡地のアイデア募集を行ったところ、市民・団体、児童生徒等から 1,680 通もの提案が寄せられるなど、事業に対する市民の関心は非常に高いものとなっている (資料 4 ページ参照)。

(仮称) 篠原地区公園の整備について、提案されたアイデアを活用するほか、市民ワークショップ等による市民意見を反映し、市民との合意形成による公園整備を進めるため、整備基本計画を策定する。

なお、委託事業者は、公募型プロポーザルにより公益財団法人山梨総合研究所を選定し、業務委託契約を締結した。

(2) 業務委託内容

基本計画策定業務

- ・条件整理
- ・活用アイデアの適性考察
- ・市民ワークショップの開催
- ・基本コンセプトの検討
- ・土地利用計画 (配置案) の検討
- ・事業手法の検討及び概算事業費の算出

(3) (仮称)篠原地区公園整備基本計画策定業務アドバイザーについて

都市計画（都市公園）・まちづくりといった専門知識のほか、市民合意形成について豊富な経験実績を有するアドバイザーを置き、第三者の立場から計画策定に対する支援を求める。

- 大山 勲（おおやま いさお）氏 【専門分野：景観・空間デザイン、まちづくり】
 - ・ 国立大学法人 山梨大学 大学院総合研究部教授
 - ・ 市都市計画審議会委員 ・ 市景観審議会会長

(4) 市民ワークショップ

多くの提案をいただいた市の将来を担う「子ども」たちの思い（アイデア）を汲み取った公園づくりを目指し、子どもたちのグループワークによる「こどもワークショップ」と、子どもたちのアイデアをもとに具体的な整備について考察する「大人ワークショップ」を次のとおり実施し、市民との協働によるまちづくりを推進する。

広報誌、市ウェブサイト、SNS等を通じて参加者募集を行ったところであるが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「まん延防止等重点措置の対象地域」に指定されたことなどから、開催日を延期しているが、今後の状況によっては実施方法について再検討を行うものとする。

●こどもワークショップ（日程変更 8月8日の開催日から延期）

- | | | |
|---------|---|------------|
| 日 時 | 令和3年9月20日（月・祝） | 午前10時～午後3時 |
| 参加対象・人数 | 市内在住の小学生及び中学生 | 当初応募者23人 |
| 実施概要(案) | ・ 全国の公園やアクティビティを学ぶ（事例）
・ グループワーク（現地で自由散策・遊び、興味・アイデア発掘） | |

●大人ワークショップ（日程変更 9月9日の開催予定分を11月4日に変更）

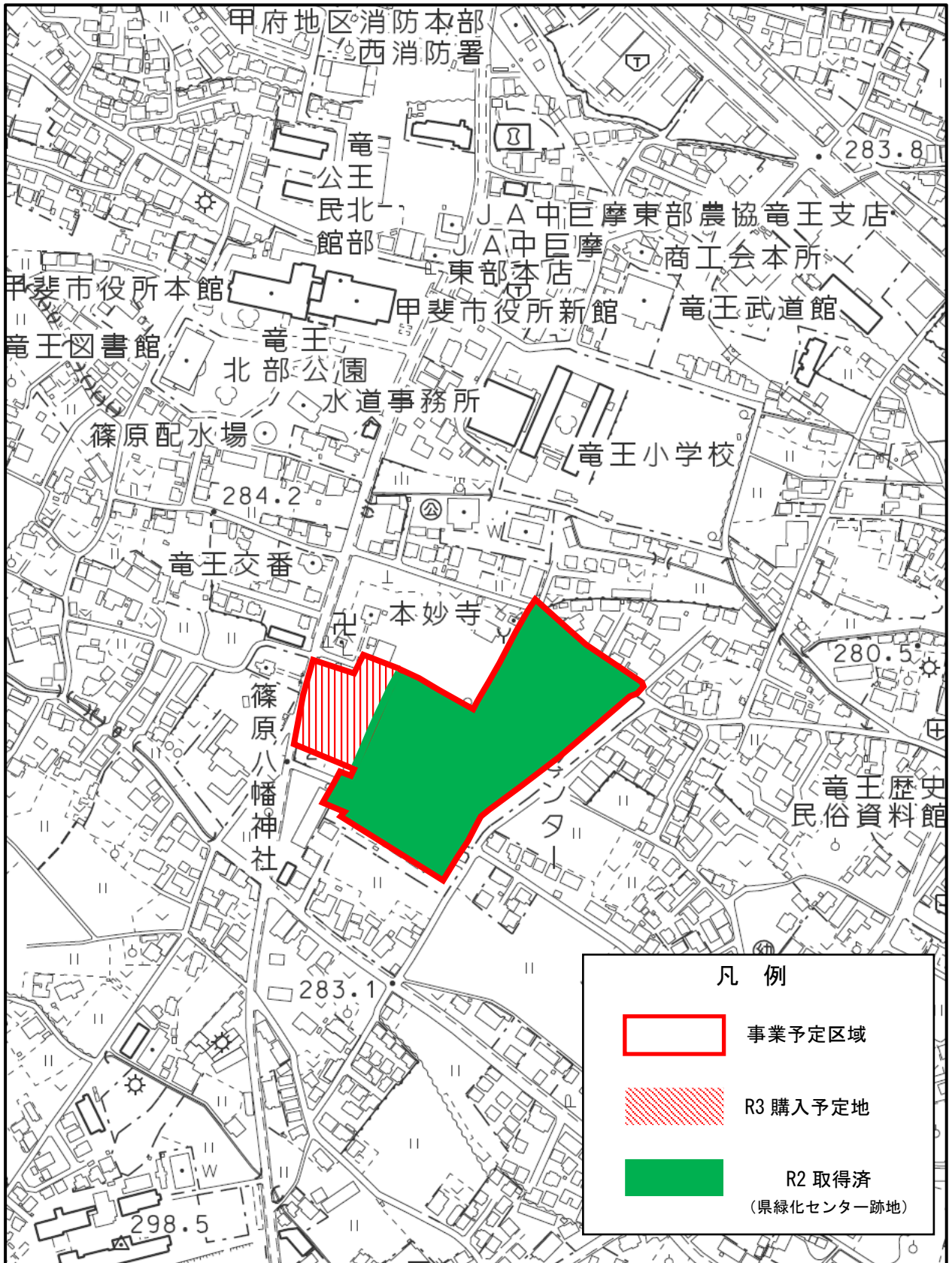
- | | | |
|---------|--|--|
| 日 程 | 令和3年9月30日、10月7日、28日、11月4日、18日の全5回 | |
| | 毎回木曜日 午後7時～9時 | |
| 参加対象・人数 | 地域団体からの推薦、及び一般公募 合計25人程度 | |
| 実施概要(案) | ・ こどもワークショップの結果報告、活用アイデアの考察
・ 子ども目線で考える公園施設
・ 法令・地域課題の整理、市民協働機運の醸成 | |

3 緑化センター跡地の開放について

- (1) 目的 施設の現状や公園整備について、広く市民の皆様にご存知いただくことを目的として、跡地施設の一部を開放する。
- (2) 場所 山梨県緑化センター 跡地 中央区画（甲斐市篠原地内）
- (3) 開放期間 令和3年7月2日（金）～10月31日（日）の金・土・日及び祝日
時間 午前9時～午後5時

位置図

(仮称) 篠原地区公園整備事業計画予定地



◆県緑化センター跡地活用アイデア募集結果 (広報誌 令和3年4月号 抜粋)

募集期間 令和2年11月～令和3年1月

募集方法 市広報誌12月号及び市ウェブサイトにて募集記事掲載、市内小中学校及び市内県立高等学校を通じ児童生徒にアイデア募集用紙を配布

主な活用アイデア

1,680通の提案を類似するアイデアごと延べ4,250件に整理しました。

応募いただいた通数		 公園	 アクティビティ	 自然・植物
区分	通数			
市民・団体	106	遊具全般、屋内遊具、芝生広場、休憩施設、川・池(水遊び)、小さな子どもからお年寄りまで楽しめる公園 1,008#	アスレチック、ドッグラン(ペット入園可)、スケートボード、アウトドア(キャンプ等)、ジョギングコース、プール 671#	貴重な植物を保存、花木を植えて花壇、昆虫採集、木を活かした遊具、ツリーハウス、自然のまま遊具不要 562#
学校関係(小・中・高)	1,574			
合計	1,680			
 スポーツ	 子育て	 飲食・物販(サービス)	 福祉	
体育館やグラウンド(サッカー、バスケットなど部活動の練習)、オリンピック・パラリンピック競技体験 465#	乳幼児等年齢別の遊具、子育て支援センター・相談所、子育て世代の親子3世代が集える施設 392#	カフェ、レストラン、自動販売機、地産地消できる飲食店・直売所、ショッピングモール、駄菓子屋 273#	インクルーシブ遊具(障がいのある人に対応)、バリアフリー、お年寄りの憩いの場、福祉施設 160#	
 展示	 娯楽施設	 学習	 景観・展望	
動物園(動物とのふれあい)、水族館、展示室(市民発表の場)、プラネタリウム、植物園(展示・育成) 123#	遊園地(ジェットコースター、ゴーカートなど)、映画館、ゲームセンター、温泉施設、ミニSL 115#	体験施設(ものづくり)、自習室、ワーキングスペース、図書館(こども図書館)、防音室(楽器)、校外学習の場 102#	イルミネーション・ライトアップ、映えスポット(木を活用・富士山・カラフルな遊具)、展望台、観覧車 93#	
 イベント	 防災	 市民参加	 環境	
イベント広場(季節ごと開催)、全天候型の大型テント、発表会ができるホール、ステージ、花火大会 53#	防災公園(災害時の避難所・備蓄倉庫)、災害支援センター、発電機や井戸を備える、避難用の高台 50#	清掃・管理ボランティア(住民、小中高生の手伝い)、将来を担う若い人の意見、検討委員会、ワークショップ 38#	太陽光・風力発電、樹木によるCO ₂ の吸収、動物(犬・猫)保護施設、リサイクルステーション、環境にやさしく 32#	
 農業・産業	 歴史	 医療	 その他	
保育園・小学校の農業体験(収穫体験)、農業園芸教室、市民農園、野菜工場、田んぼ・畑 23#	民俗資料館(埋蔵文化財)、山梨県・甲斐市の歴史文化、武田信玄(信玄堤)を学ぶ施設 19#	救急センター、病院(内科・皮膚科・MRI・CT)、コロナ対策に専用の病室を増やす、保健所・保健センター 11#	整備運営費の削減、次世代に負担をかけない、利益があれば管理費に充てる、公共施設の統廃合、事業中止 60#	